

「地域で育てよう すこやかな子ども」

小平市学校経営協議会実践事例集



自立

貢献

共生

令和7年4月

小平市教育委員会指導課

目次

【小学校】

小平市立小平第一小学校	2
小平市立小平第二小学校	3
小平市立小平第三小学校	4
小平市立小平第四小学校	5
小平市立小平第五小学校	6
小平市立小平第六小学校	7
小平市立小平第七小学校	8
小平市立小平第八小学校	9
小平市立小平第九小学校	10
小平市立小平第十小学校	11
小平市立小平第十一小学校	12
小平市立小平第十二小学校	13
小平市立小平第十三小学校	14
小平市立小平第十四小学校	15
小平市立小平第十五小学校	16
小平市立花小金井小学校	17

小平市立鈴木小学校 18

小平市立学園東小学校 19

小平市立上宿小学校 20

【中学校】

小平市立小平第一中学校 22

小平市立小平第二中学校 23

小平市立小平第四中学校 24

小平市立小平第六中学校 25

小平市立上水中学校 26

小平市立花小金井南中学校 27

【参考資料】

小平市におけるコミュニティ・スクール推進の方針 29



小学校

小平市立小平第一小学校コミュニティ・スクール



学校にかかわるすべての人が「楽しい」第一小学校



創立151周年になりました

令和六年度の取組

教員と経営協議会委員との意見交換

地域の方と教員が顔見知りになっていることが、ともに学校に集う際の雰囲気を作ると考え、今年度は3回の熟議を実施しました。

1回目のテーマを「学校とのかかわりの中で楽しいと感じるとき」として、一小が目指す「すべての人にとって楽しい学校」の具体的な姿を出し合い、実現のための課題も共有することができました。

挨拶、協力、かかわり、体験などのキーワードが見えてきました。この熟議をもとにして2回目以降の話し合いを進めていきました。

各団体の活動状況を共有することもできました。互いに協力しながら「楽しい」第一小学校になるよう話し合いを進めています。



令和七年度の展望

地域の財産の活用

コミュニティ・スクールとして、より一層、地域財産の活用を進めるとともに、連携を密にしていきます。また、学校の課題を共有し、必要に応じてプロジェクトチーム等を組織し、地域と連携した児童の育成を推進していきます。



その他アピールしたいこと

学校支援ボランティアの活動

学校図書館ボランティア～季節に応じた装飾でわくわくします。

花と緑のボランティア～正門を入るときれいな花が迎えてくれます。

読み聞かせボランティア～「おはなし会」を楽しみにしています。

若竹ボランティア～安心して保護者会に参加することができます。

安全ネットワーク～こどもたちは安心して登校することができます。

こどもたちの安心・安全、楽しいを生み出してくださっています。



小平市立小平第二小学校コミュニティ・スクール

人と人のつながりを大切にする 笑顔あふれる学校

令和六年度の取組

◎総務プロジェクト：ホームページやSNS等でCSの活動を発信。

◎安全対策プロジェクト：避難所開設準備委員会の運営。

◎学校・家庭支援プロジェクト：学校支援ボランティアの運営。



ホームページ



間仕切テント設置



花壇ボランティア

令和七年度の 展望

◎安全対策プロジェクト：避難所マニュアルを活用した訓練の実施。

◎総務、学校・家庭支援プロジェクト：

ボランティアの募集方法やイベント内容を工夫し、よりたくさんの方に参加いただけるようにする。

その他アピール したいこと



ビオトープ観察イベント

◎CSが中心となってビオトープの充実に取り組んでいます。

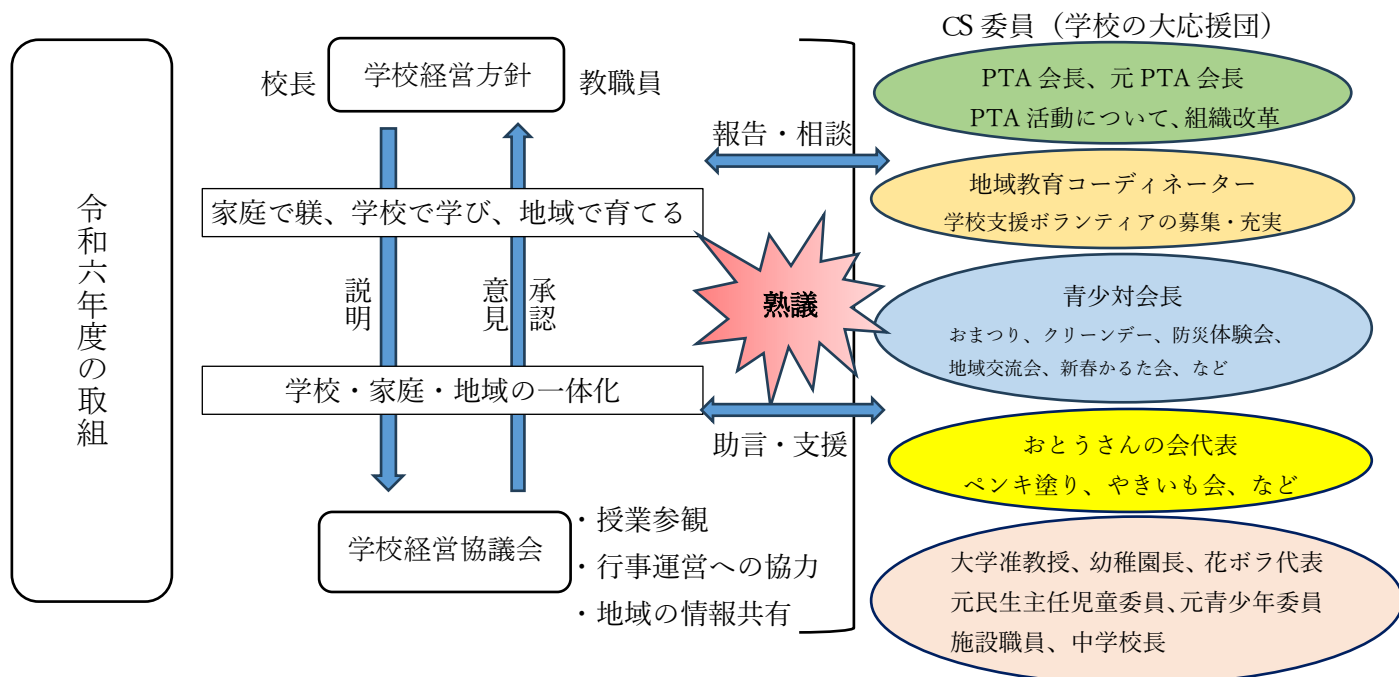


横断幕作成

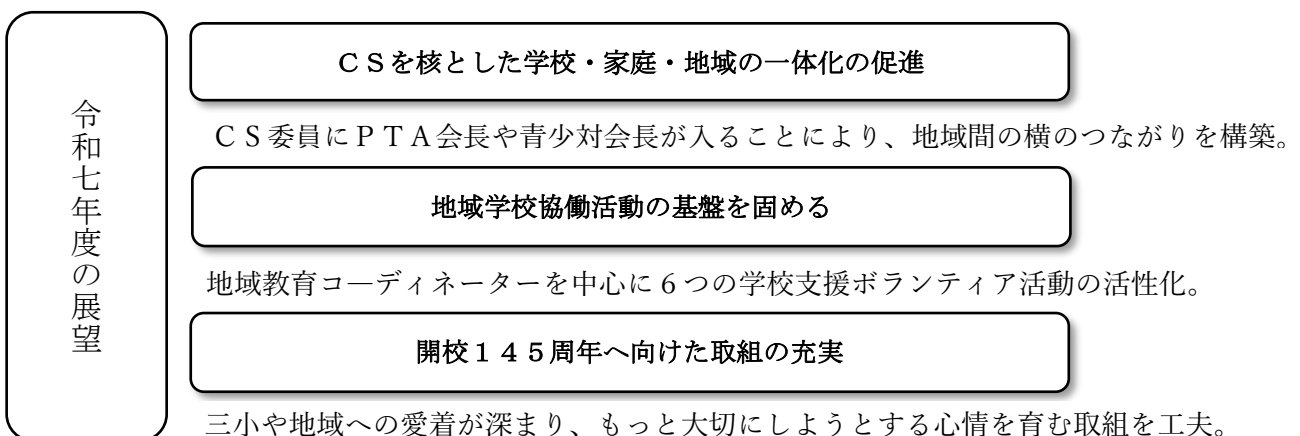
◎CSで二小の取組を保護者・地域の皆様に工夫して発信しています。



こどもも大人も笑顔あふれる明るい三小



自尊感情を育てる校内研究 学力調査結果分析 クラブ活動の意義説明 学校評価アンケート結果分析など



小平市立小平第四小学校コミュニティ・スクール

他者と豊かにかかわり、知性を働かせ、明日を切り拓くこどもの育成を目指して

令和六年度の取組

- (1) 学校経営協議会を年8回開催。
- (2) 学校経営協議会委員と教職員による熟議を年1回開催。
- (3) 学習支援ボランティア、放課後子ども教室等との連携による学習支援の実施。
- (4) 津田塾大学と連携による英語学習の実施。



令和七年度の展望

- (1) 今年度の体制の維持及び強化
保護者や地域への声掛けにより、学校経営協議会委員が世代交代の時期に入りつつある。後継者の育成や引継ぎを少しずつ進めていく。各連携グループと協力しながら取組について広く紹介し、実施状況とその成果を知らせて理解を広め、人材確保・人材育成に努める。
- (2) 津田塾大学との連携による英語学習のさらなる充実
学生による英語の授業支援を継続するとともに、より多くの授業で学生が児童のニーズに応じて、担任の補助的役割を担うことができるよう、検討していく。
- (3) 創立70周年に向けて
令和8年度の創立70周年に向けて、学校経営協議会として関われることを検討し、学校、地域、保護者をつなぎながら準備を進めていく。

その他アピールしたいこと

- ・地域の力が生き、地域の中で児童が育つ学校である。
- ・放課後子ども教室の活動が非常に活発である。夏季休業中も多種多様な体験プログラムを企画し、児童が楽しんで取り組み、第三の居場所を提供する役割も果たしている。
- ・学校支援ボランティアグループ「ナラミスタッフ」の専門的な知識や経験によって、児童は学びを深めることができている。
- ・津田塾大学の学生による外国語に関する活動の展開を通して、外国語に親しみをもつ児童が増えている。

小平市立小平第五小学校コミュニティ・スクール

「一人一人が大切にされ、地域とともに笑顔輝く学校」

令和六年度の取組

- ◇月に1回、学校経営協議会を開催し、教育課程・人事・予算などについて協議した。
- ◇事業推進型として3つのグループ（地域参画型授業・SDGs推進／防災教育推進／家庭支援・高齢者交流推進）を作って実施した。
- ◇委員の方々に学校の様子や取組をより知っていただくために、毎回の協議会の前に、授業参観を行った。

ともたん
ふれあいタイム



5・GOマーケット



防災教室



令和七年度の展望

- ◇事業推進型としての3つのグループ（地域参画型授業・SDGs推進／防災教育推進／家庭支援・高齢者交流推進）の取組を継続して推進する。
- ◇学校がすすめる「持続可能な社会の担い手の育成」を地域、有識者等との連携の側面から力強く支援する。

その他アピールしたいこと

会長を中心に、3つの取組をチームとなって推進しています。令和6年度は、地域の環境問題やウェルビーイング等を扱う活動を児童と一緒にしてきました。児童からの協力要請がかなりあり、今後もより充実した体制で地域と学校が一体となってすすんでまいりたいと思います。

小平市立小平第六小学校コミュニティ・スクール



六っぴー

令和六年度の取組

みんなの笑顔が輝く学校 ～学校・家庭・地域が一体となった教育～

コミュニティ・スクール委員が3つのプロジェクトチームを構成

○わくわくイベントプロジェクト

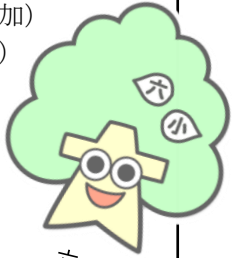
ブリヂストン（棚田での稲作 低学年交通安全教室 イベントへの児童参加）
イトマン水泳教室 早朝ランニングクラブ マミーマート（絵画掲示）
むさしの救急病院（救急法教室）
休み時間のむかしあそび 保護者会時の低学年児童保育
小川駅西口地区の再開発工事に伴う仮囲いへの絵画掲示
萩山公園プール跡地公園作りへの意見応募

○ぐんぐん学習プロジェクト

学習支援ボランティアの募集 ⇒ 授業支援（算数、図工、生活など）
安全見守り支援（家庭科、校外活動など）
外国籍児童など配慮が必要な児童への支援

○にこにこ登校プロジェクト

六小未来カフェの定期的な実施（保護者の相談、仲間作り活動）



六っきー

令和七年度の展望

引き続き3つのプロジェクトチームで活動

○わくわくイベントプロジェクト

地域との連携強化 ⇒ 児童にとって楽しくて充実したイベントを企画

○ぐんぐん学習プロジェクト

学習支援ボランティアの募集 ⇒ 学力向上をめざし、必要な支援を

○にこにこ登校プロジェクト

六小未来カフェの持続可能な推進体制の構築 ⇒ 地域のネットワーク作り

にこにこ登校プロジェクトにおける六小未来カフェの取組は5年目を迎える。これまで六小未来カフェを活用していただき、お子さんが小学校を卒業する保護者の方に、今後は運営側としての協力を要請していく。これまで六小未来カフェに相談にみえていた保護者の方々には、六小未来カフェの趣旨や意義も十分に理解していただき、そういった方々の協力を得ることにより、今後も持続可能な体制を構築することができるものと考えている。

その他アピールしたいこと

○学区内にある東京経済大学陸上部寮との連携

・早朝ランニングクラブの時に学生が受付をしたり、一緒にランニングしたりして活動している。

○学区にある企業等との連携

・ブリヂストン
・イトマン
・むさしの救急病院（救急法教室）
・マミーマート



コミュニティ・スクールのさらなる充実に資する人材の確保・育成

小平市立小平第七小学校コミュニティ・スクール

こどもも大人も笑顔と思いやりがいっぱいの学校

令和六年度の取組

「情報発信」、「避難所運営マニュアルの更新・周知」、「地域との交流・ふれあい」の3つのプロジェクトチームによる活動を行った。

◇**情報発信**：「七小コミュニティ・スクールだより」をスクールメールと学校HPで発信した。会議の報告の他、コラム欄にて、地域や青少対の行事のお知らせ、「七小いじめ対策委員会」を支援する組織であることなどについての記事を掲載し、周知した。

◇**避難所運営マニュアル**：マンホールトイレの展示（11/17青少対祭り）、例年大沼公民館と共催で行っている「防災講座」で、防災士による講座を開催した（全3回：3/8・3/15・3/22）。

◇**地域との交流・ふれあい**：
6年生を対象に、F C東京の桜澤コーチの講演会を企画し、キャリア教育の授業を行った（9/6）。



令和七年度の展望

◇**情報発信**：学校経営協議会委員の方々の仕事や経験を生かしたメッセージを発信していく。

◇**避難所運営マニュアル**：地域の防災意識及び運営力の向上のため、「防災講座」の開催を継続していく。

◇**地域との交流・ふれあい**：F C東京と連携したキャリア教育の授業を継続して行う。地元の商店会での職場体験やF C東京の選手や地元の商店会と共に地域清掃を行う取組の実現に向けて検討する。また、児童がマンホールトイレの設置方法を体験する防災についての授業を検討する。



その他アピールしたいこと

・学校経営協議会委員が、それぞれの仕事や経験を、地域の教育力として活かし、F C東京や錦城高等学校、青少対、地元の商店会など地域の様々な主体と連携した取組の実現を図っている。
また、運動会の際は、警備や見守りなど、連携して取り組んでいる。

小平市立小平第八小学校コミュニティ・スクール

夢は 自分たちでかなえる！

令和六年度の取組

- ・児童発案の活動を取り入れた60周年記念行事
- ・保護者との対話を大切にする「ぱちぱちくんふれあいタイム」
- ・総合的な学習の時間の授業を核とした校内研究
研究主題「夢を描き、追い求め、実現する児童の育成」
- ・学校経営協議会での報告を书面配布とし、熟議の時間を確保
- ・年11回の学校経営協議会のうち2回を委員と教員の交流会に

令和七年度の展望

- ・総合的な学習の時間の授業を核とした校内研究（令和7年度研究発表）
- ・児童自ら夢を叶え、達成感や成就感がもてる指導法の工夫
- ・全教職員が心身共に健康で職務にあたるためのスクラップアンドビルド
- ・学校経営協議会の協力を得て、学習で連携する地域人材を発掘
- ・児童発案の活動を取り入れた展覧会

その他アピールしたいこと

- ・児童発案の活動を大切にしながら、こどもたちが身近な夢を自分たちでたくましく叶えていく力を育む
- ・校内研究において、地域の人（地元の農家さんなど）や物（福祉施設など）を教材とし、実社会で活用できる力、社会参画意識、地域の一員としての自覚を育成する
- ・個別最適な学習に向けてAIDRILを活用
- ・教員の指導力を高めるためのOJT研修の実施
- ・毎年夏に講師を招き、全教員とCS委員・地域の方が参加するCS研修会を実施

小平市立小平第九小学校コミュニティ・スクール

誰にでもやさしく、誰からも愛される学校
～一人一人を大切に、みんなの笑顔が輝く学校づくりを通して～

令和六年度の取組

- 学校経営協議会を6回実施。
- 学校経営協議会委員と教職員による熟議を2回実施。「みんなの笑顔を増やすちょこっとアイデア」などについて話し合った。
- 全学級の授業参観を3回、展覧会と道徳授業地区公開講座の参観を実施。参観後に、児童の様子や教職員の取組について、意見交換を行った。



令和七年度の展望

- CSとしてより具体的な活動ができるようにしていきたい。
 - ・プロジェクトチームを設置してはどうか。
 - ・協議会の回数を増やしてはどうか。
 - ・CSとしての取組を周知するため、便りなどで発信をしてはどうか。

CS委員からの声

授業参観後の意見交換より

- 教員が「先生は嬉しい」と児童に声を掛けている姿を見て、「えらいね」と言うよりも児童の心に伝わると感じました。
- 特別支援教室の様子を初めて参観させていただき、大変勉強になりました。
- 展覧会がすばらしかった。見に来る人を楽しませようとする「おもてなしの心」が伝わってきて、思わず笑顔になりました。

笑顔と夢が広がる未来を拓く

令和六年度の取組

■「熟議」を行いました。

【テーマ（一部）】

- 学校経営方針の柱である「かかわる力」について
- こどもたちにとって「ふるさと十小」となるための取組
- 地域の皆さんにとって「キーステーション」になるための取組



令和七年度の展望

- 引き続き、地域の学校として、地域・保護者と一体となってこどもたちを幸せに導くことのできる「コミュニティ・スクール十小協働学校」、「キーステーション十小」を創る。
- 学校経営協議会の活動の充実に向けた具体的な取組に向けた協議や地域のさらなる活性化に向けた協議の実施

その他アピールしたいこと

■学校経営協議会委員と教員で熟議を実施

学校経営協議会委員と教員との協働の意識を高める。



小平市立小平第十一小学校コミュニティ・スクール

「こどもも大人も笑顔あふれる十一小」

くつなごう 育てよう とともに！！＞

令和六年度の取組

■広報

- ・「十一小コミュニティ・スクールだより」を学校のホームページに掲載し情報発信をしました。
- ・「にこにこカレンダー」を作成しました。

■見守り

- ・登下校の見守りを推進しました。

■熟議

- ・「小平第十一小学校等複合施設の整備」について新校舎図面案を見ながらＣＳ委員・教職員・ＰＴＡが様々な立場から意見を出し合いました。

■漢字検定

- ・学校を準会場として漢字検定試験を運営、実施しました。

■映画上映会

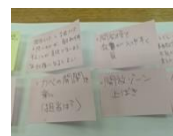
- ・ＰＴＡと共催で環境をテーマにした映画上映会を開催。児童、保護者、地域の方と鑑賞し上映会後には制作した監督と意見交換会の企画運営を行いました。

■学習活動の充実

- ・６年生社会科の模擬選挙の授業に立候補者として参加しました。

■その他

- ・小平第六中学校のＣＳと協働し、運動会における六中生によるボランティア活動を実施しました。



令和七年度の展望

★漢字検定の実施、地域を交えた交流の機会を作ります。

★地域の方も交えて、避難所運営マニュアルをブラッシュアップします。

★こどもたちが安心して学ぶことができる環境作りを考えます。

★熟議を実施し、協議・対話する場を大切にします。



その他アピールしたいこと

「こどもも大人も笑顔あふれる十一小」をめざし、様々な立場から、未来の十一小のために知恵を出し合います。
そのために、ＰＴＡ、ＣＳ、教員、地域との熟議の場を継続してつくっていきます。



小平市立小平第十二小学校コミュニティ・スクール

「こどもも、大人も、みんなの笑顔があふれる学校」を目指します

令和六年度の取組

土曜学校公開に合わせ、CS委員や避難所運営委員会、市の防災危機管理課と連携し、全学年で防災の授業を行いました。特に6年生の授業では、CS委員と企画し、防災倉庫、マンホールトイレ、体育館仕切りパーテーションなどを確認し、十二小の防災訓練、防災設備について実際に体験しながら学習できるように工夫しました。また、保護者の方々にも学校の防災設備を見ていただけるよい機会となりました。その他にも、児童の学習を多くの大人が目で見守ることで学力・体力向上、健全育成を図っています。

令和七年度の展望

学校の課題を各プロジェクトチームで協議し対応してまいります。そのために、CS会議の時間を早め、教職員との話し合いの時間を増やし、一層連携を深めてまいります。

熟議は、学校公開日に設定するなど、教職員や保護者も含めて多くの意見を聞けるようにしていきます。

学校と保護者や地域住民が協議しながら、ともに知恵を出し合い、学校経営に意見を反映させることで、児童の豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めてまいります。

熟議を通して共通理解

学校経営協議会の熟議では、全教職員参加の下、家庭や地域の願いや課題を知り、児童の豊かな学びについて共通理解を図りました。また、プロジェクトチームで課題解決に向け検討し、計画的なボランティアの活用を通して教育活動への保護者や地域の参画を図っています。

教員とCS委員が意見を交流できたことで、CS委員の思いを知ることができ、共に児童のために協力していくことを話し合うことができました。令和7年度は、全教職員との熟議を更に重ねることで、地域と連携したよりよい教育活動に活かしてまいります。

小平市立小平第十三小学校 コミュニティ・スクール

自ら学び、かかわり、他と共に生きるこども



令和六年度の取組

- ・学力向上を目指して算数学習ボランティアを継続、活性化しました。
- ・小平市研究推進校としての校内研究に委員が参加し、意見を伺いました。
- ・ペアレントメンターによる親カフェを実施し、親子のかかわり方について気軽に話し合える場を充実させました。
- ・青少対まつりなど、地域における人と人との関わりを深める事業を積極的に推進しました。

令和七年度の展望

- ・これまでの活動を継続・充実させていきます。
- ・熟議を実施し、協議・対話する場を大切にします。
- ・こどもたちが安心して学ぶことができる環境づくり、かかわりが広がる機会の創設を目指していきます。
- ・CS会議の充実を通して、学校と地域との連携のさらなる強化を目指します。



その他アピールしたいこと

- ・学校経営協議会が中心となって、学校が地域と協働する拠点づくりに努めます。
- ・こどもたちを学校・家庭・地域が共に育てる拠点としての働きを充実させていきます。
- ・ペアレントメンターによる親カフェを実施し、親子のかかわり方について気軽に話し合える場をさらに充実させていきます。

小平市立小平十四小学校コミュニティ・スクール

人と人とのつながりを大切にする、笑顔あふれる学校

令和六年度の取組

- ・CSメンバーによる学童農園、お店番体験（渉外・新規開拓・調整・体験受入なども含む）、防災教室、学年花壇の活用提案、出前授業、動植物のお世話、学年行事の保護者ボランティア募集などの協力をいただきました。教職員がどの学年を担当しても、学年に応じた外部人材との橋渡しを担っていただきました。



令和七年度の展望

- ・CSメンバー間での事務作業や年間の外部人材活用の引き継ぎ。
- ・学年ごとに活動内容の拡大、精選の連携。
- ・一中校区のスローガン「みんなで助け合い、笑顔いっぱいの地域にしよう」の具現化。（広報、学年花壇、地域防犯・防災など）
- ・避難所開設準備委員会との情報共有。

その他アピールしたいこと

- ・今年度は55周年でした。CSメンバーや卒業生（こぶしの会）が中心となり、航空写真の立案・計画・実施を行いました。
- ・CSだよりが議事録ではなく、保護者が読みたくなるような学校での旬な活動を紹介するような広報紙になっており、地域からの視点として発信されています。
- ・子どもたちが地域の活動にふれる機会が多く、「令和6年度全国学力・学習状況調査」の「地域貢献」について十四小の子どもたちの肯定的意見は、東京都平均より22.9ポイント高い結果となっています。
- ・週末は地域や保護者のボランティアが、うさぎの飼育を担当しています。また、長期休業中や週末の花や生き物の様子をブログにて発信しています。



小平市立小平第十五小学校 コミュニティ・スクール

「しっかり学び、元気と笑顔あふれる十五小」 「感謝し、楽しみ、味わい、分かち合う十五小」

令和六年度の取組

- ・CS主催「いちごカフェ」を定期的を実施。
- ・小平警察署より「十五小通学路安全運転呼びかけ隊」の委嘱を受け、「十五小CSいちご見守り隊」として活動を開始。
- ・学期の初めに、町内会の協力を得て下校指導を行った。
- ・委員の皆さんを全校朝会で紹介したり、学校公開、行事等に招待したり、児童と関わる時間を増やし委員と児童が交流できる機会を設定した。



令和七年度の展望

- ・CS主催「いちごカフェ」の継続、充実。
- ・「十五小CSいちご見守り隊」の継続、充実。
- ・給食に招待するなど、委員と児童の交流の機会を更に増やす。
- ・CSを介して、地域人材や地域教材の発掘、開発を進める。また、地域の見守り等、放課後の児童の安全確保に向けた取組について更に充実させる。

その他アピールしたいこと

- ・CS委員がゲストティーチャーとして来校し、協力をいただいたことで児童との交流が増え、地域での挨拶がより活発になった。
- ・地域施設との連携で、留学生交流、国際理解教育、生活科たんけん等、津田塾大学との交流が更に充実し、活発になった。



小平市立花小金井小学校コミュニティ・スクール

花小CSビジョン:「もっと地域を好きになる！」 —保護者と地域と学校で、子どもを育てる—

令和六年度の取組

花小CSでは「交通安全対策」と「健全育成」の2つのプロジェクトに取り組んでいます。

(1) 交通安全対策プロジェクト

昨年度から継続しているプロジェクト。
交通安全を呼び掛けるポスターを作成しました。花小学区の通学路のご家庭や商店・自治会等にお渡ししポスターを掲示していただきました。

交通安全の声をかけを
応援しています
保護者や地域の方の声かけで安心安全なまちづくり



(2) 健全育成プロジェクト

こどもたちの健全育成のために、複数の取組を実施しました。

「みんなで歌おう会」では、練習を重ねて、青少対の「秋のコンサート」に参加しました。他にも園芸ボランティアや花小クラブと連携して、田植えや稲刈り、しめ縄づくりなどに取り組みました。



<令和6年度の新しい取組>

9月にCS委員と教員との懇親会を実施しました。学校や地域の状況や課題について委員と教員がこれまで以上に理解を深めることができました。



令和七年度の展望

学校経営協議会に求められる役割について再検討し、活動を見直していくとともに、これまでの活動についても引き続き充実させていきます。

アピールしたいこと

CS委員と教員との懇親会はつながりを深める第一歩となりました。今後も保護者と地域と学校が情報や課題を共有し、よりよい学校・地域づくりのため、こどもたちを中心とした関係者のつながりを深めていきます。

小平市立鈴木小学校コミュニティ・スクール

こどもたち・保護者・地域の「安定」「安全」「安心」のために

令和六年度の取組

・「防災を考える日」の実施

C S委員が中心となって実施した。担任による各教室での防災授業と体育館と屋外での体験学習を行った。当日は、市役所や地域ボランティアの方々の協力もあり、とても充実した取り組みとなった。



- ・ボランティア募集における公式 LINE の活用
- ・コミュニティ・スクールだよりの発行

令和七年度の展望

<校内教育プロジェクト>

- ・鈴木遺跡、古代の泉を活用した学習カリキュラムの作成
- ・創立50周年に向けた取り組み

<校外教育プロジェクト>

- ・C S、保護者、地域が連携した見守り（登下校時や放課後などの地域パトロール）活動

<地域教育促進プロジェクト>

- ・「防災を考える日」における取り組みの一層の充実

その他アピールしたいこと

- ・地域の特色の一つ「鈴木遺跡」の教育活用に向けて、C S委員がカリキュラム編成に関与している。
- ・C S委員、学校、保護者だけでなく、市役所や地域の方々ともつながりをもつなど連携の幅を広げることで、学習や行事などの教育活動の充実を図ることができている。



小平市立学園東小学校コミュニティ・スクール



笑顔と夢があふれ コミュニティで育む 学園東小
～人にやさしく 自分につよく 元気にがんばる こどもの育成～

令和六年度の取組

- ①登下校の見守りや学校行事への参加
- ②CSマイスター四柳氏を招き、学校経営協議会の運営の見直しに着手
- ③各種ボランティア活動の計画、運営（読み聞かせ、花植えなど）
- ④夏休み親子漢字検定の実施
- ⑤生活科や総合的な学習の時間における地域連携授業の支援
- ⑥防災の日（自治会と合同の防災訓練及び学校公開）
- ⑦つばみスクールの開催
- ⑧新1年生プレ教室の運営補助



②CSマイスター四柳氏を 招いての熟議



⑤3年生「お仕事体験」 ムーちゃん広場にて

⑦つばみスクールの開催



令和七年度の展望

- 毎月の学校経営協議会では、テーマを決めて熟議を行い、学校と地域のためにできることを模索していく。
- 保護者や地域の願いを調査し、今後の活動に生かしていく。
- 教員の負担軽減になる取組や、学校経営協議会委員が子どもたちにとって身近な存在となる活動を増やしていく。

共に
地域と

子どもたちが地域の一員として豊かに成長できるよう活動していきます！
～地域の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます～

小平市立上宿小学校コミュニティ・スクール

みんな なかよし ニコニコ学校

令和六年度の取組

- 令和7年度教育課程の承認と保護者説明会の実施
- 『プロジェクト・チーム』に分かれた熟議
 - ・ 広げよう。学びの輪。チーム
既習事項の定着を図った、学力向上を目指す放課後の「ステップ教室」と「朝学習」の取組や、読書活性化を図った「お話の森」「夏休み 星空☆お話の森」の取組。
 - ・ 育てよう。心の芽。チーム
児童の気持ちに、更に寄り添うための「つなぐルーム」の取組。
 - ・ みんなで協力。助け合おう。チーム
地域と連携

令和七年度の展望

- ・ 令和8年度教育課程の承認と保護者説明会の実施
- ・ 保護者、地域への学校経営協議会の更なる理解浸透
- ・ 学校地域支援本部の運用
- ・ 学校経営方針に則った、『プロジェクト・チーム』の活動内容の更なる充実と必要に応じた再編

その他アピールしたいこと

本校では、各学年の授業支援に加え、様々な形で多くのボランティアの皆さんに活動していただいております。活動内容は、上記の「お話の森」の読み手や登校時の見守り、放課後こども教室といった児童に直接関わるものの他に、校地内の植栽整備や配布物の仕分け、行事の際のテント設営や片付け、受付補助など多岐に渡ります。

多くの保護者や地域の皆さんが、上宿小学校のよさを守り、広め、更に高めるために、できる活動にできる範囲で御協力してください。そして、学校のピンチにも手を差し伸べてくださいます。

多くの皆さんの思いを受け止め、様々な形で地域運営学校としての魅力を存分に発揮できるよう、今後も学校経営協議会の在り方を鋭意検討していきます。

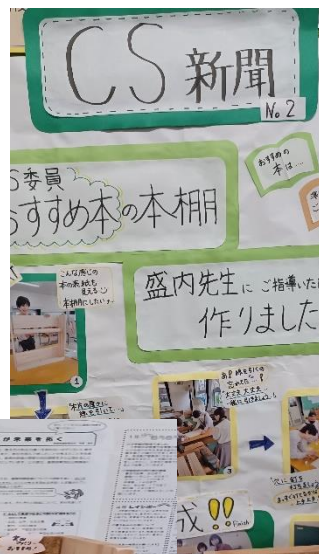
中学校

小平市立小平第一中学校コミュニティ・スクール

各委員の知恵や経験を学校経営に活かすコミュニティ・スクールを

令和六年度の取組

- ・学校運営協議会会議を開催（オンライン）（4,7月）・「CS委員本棚」を作成（7月）
- ・技術科教員と連携し、本棚を作成。委員からの推薦図書を月ごとに展示。
- ・CS新聞（壁新聞）の作成 掲示
- ・7年度教育課程に関する意見聴取 承認



↑
新聞

← 本棚

令和七年度の展望

- ・これまで日常的な意見交換はオンラインで実施していたが、委員間で参加の濃淡が出てしまった。定期的に対面の会議を開催するようにしたい。
- ・具体的に生徒に関わる活動を考え、実施していく。

その他
アピール
したいこと

- ・バラエティに富んだ役員の人選を継続していきます。初期から参加している大学生委員が卒業、就職しますが継続して社会人としてかかわってくれることになりました。

小平市立小平第二中学校コミュニティ・スクール

結び合おう 地域と二中の固い絆

令和六年度の取組

①学校経営協議会を年6回開催

各2時間の会議では、学校経営方針の承認、学校評価の検討、教育課程の審議など行っています。1学期には特別支援学級主任が講師となり、特別支援学級（知的・情緒）について学習会を行いました。

②校内研修会への参加

1学期、二中の校内研修会に4名のCS委員が参加し、CSの活動について伝えました。その後、教職員と意見交換を行い、お互いに交流しました。

③「自閉症・情緒障がい特別支援学級への理解」研修会

来年度新たな特別支援学級の開級に向けて、2名の講師を迎え研修会を実施しました。CS委員・教員のみならず広く地域にも周知し、63名の参加者は、様々な立場から理解を深めることができました。

④ぷらっとカフェ

12月に保護者を対象に子育てで困っていることなど、気軽に話することができる場を設定しました。校長を囲んで、参加者との輪が広がりました。

⑤給食試食会

2月に来年度の新入生保護者を対象として、給食センターで試食会を実施しました。入学を控え、様々な不安など解消する目的です。試食後は副校長を囲んで座談会を行いました。

令和七年度の展望

- ・自閉症・情緒障がい特別支援学級の研修を継続し、理解を深めます。
- ・小平二中の研究主題である「非認知能力を高める」ことについて、CSの立場からも研修会など具体的な活動を探ります。
- ・ぷらっとカフェや給食試食会のような、保護者が思いを出せる場を検討します。
- ・地域人材を発掘し、委員の増加を目指して取り組みます。

アピールしたこと

昨年度とメンバー構成に大きな変化はありませんでしたが、「CS委員としてできること」を熟議し、上記のとおり新たな活動を行うことができました。また、今年度より定期的に「CSたより」を発行し、活動内容を周知しています。今後も学校と地域の架け橋となり、活動していきます。



小平市立小平第四中学校コミュニティ・スクール

地域に根差した魅力ある学校づくり 地域と共にある学校・おらが学校
持続可能な教育活動の推進 「目指す生徒」及び「目指す学校」の姿の明確化・実現

令和六年度の取組

- 教育活動の支援及び評価
- 教育活動の協力者（学校支援ボランティアなど）人材の確保、ネットワークの構築
- 地域学校協働活動の企画、調整
 - 健全育成：多様な学びの場づくり（カルガモ教室）、部活動支援、防災訓練、校内園芸、あいさつウィーク
 - 学力向上：学習補助、放課後学習教室、学び直し教室、検定（英語・漢字）の検討
 - キャリア：職場体験、職業講話、ボランティア活動

令和七年度の展望

- 学校経営等への助言、熟議の継続
- 様々な教育活動の協力者を発掘、人材確保
- 地域学校協働活動の周知
- 不登校支援教室の運営協力
- 60周年記念行事のコミュニティースクールとしての記念行事の企画・運営



その他アピールしたいこと

地域学校協働の取り組みとして、実技教科に地域・保護者の授業補助を導入。より安全に授業を進める効果と、授業者のきめ細かな個別指導が実現。

また、不登校支援教室（カルガモ教室）では、CS人材ネットワークにより作業療法士を導入。また放課後学び直し教室を実施し、多くの生徒に効果を出した。

小平市立小平第六中学校コミュニティ・スクール

ジョイナス ～地域づくり つながりづくり 仲間づくり～

令和六年度の取組

- 【学力向上プロジェクト】 定期テスト対策、検定対策、受験関連 他
放課後学習教室(ジョイナス)。自習の場を提供。
- 【健全育成プロジェクト】 「部活動体験」、「あいさつ運動」他
- 【キャリア教育プロジェクト】「職業講話」、「ようこそ先輩」、「福祉体験」等
身近な地域の方々との関わりや人生の先輩の話を聴く機会を設定。



【地域ボランティア活動の推進】

- 11小CSと6中CSで連携し、6中生の第11小学校運動会ボランティアを実施。
- 6中地域活動部と連携して、6中生の青少対ボランティア活動を推進。
- 【六中CS農園芸教育】：学校に通いづらい生徒の居場所づくり、社会性の向上。
- CS委員が畑（6中横）と小平福祉園の活動スペースを確保し、6中SSW等との連携のもと指導。農作業（芋づくり）や福祉園の子ども達との交流活動。



令和七年度の展望

- 「学力向上」「健全育成」「キャリア教育」プロジェクトの活動及び「地域ボランティア活動の推進」、不登校支援「六中CS農園芸教育」を継続します。
- 6中地区の地域の一員として、地域のボランティア活動を推進していきます。
持続可能な地域づくりの担い手の育成を目指します。
- 6中CSボランティアビブスをつくりました。6中生在ビブスをつけてボランティア活動を行います。応援お願いいたします。

その他アピールしたいこと

- 3/24 講演会【災害エスノグラフィー（地震編）】日本赤十字社東京支部職員により実施
- 目的 発生直後の行動や避難所生活を読み物による疑似体験を通して、自分事として考え、防災の意識と実践力を高める。
 - 対象 7小関係者（管理職、CS委員、学習教室スタッフ、青少対役員、消防団員）
11小関係者（管理職、CS委員、青少対役員）
6中関係者（管理職、CS委員、PTA会長、民生児童委員）
 - 活動内容 読み物による過去の災害追体験（阪神・淡路大震災 西宮市の事例）

小平市立上水中学校コミュニティ・スクール

地域との連携強化！

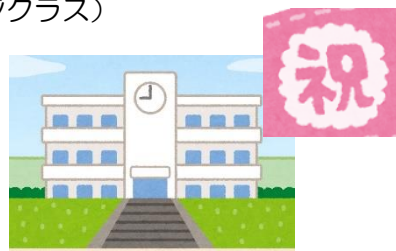
令和六年度の取組

- ・学校行事（運動会・合唱コンクール等）の視察
- ・学校の現状把握と課題についての共通理解
- ・来年度、開校50周年式典に向けての話し合い
- ・来年度の方向性についての意見交換
- ・他校の取組紹介



令和七年度の展望

- ・学校と地域の連携強化（学校と地域がつながる機会の創設）
- ・上水さくら学級（チャレンジクラス）と地域との連携を模索
- ・開校50周年式典の実施



その他アピールしたいこと

上水中学校の校区は、年配の方々を中心にご近所さん同士のつながりがまだまだ残っています。地域の自治会等も学校との連携を望んでいます。CSになったことをきっかけに学校と地域の連携を強化し、人と人のつながりの希薄化の改善につなげていきたいと思います。また、そうすることで防犯・防災効果を高め、よりよい地域にしていきたいと考えています。

小平市立花小金井南中学校コミュニティ・スクール

地域と共にある学校 安心できる居心地のよい学校

令和六年度の取組

令和4年度の都型学校経営協議会から継続して、学校経営協議会委員を3つの分科会に分け、それぞれの課題に取り組みました。

(1) 「学習支援」分科会

令和3年度より、「花小金井南中学校検定推進委員会」を発足し、英検と漢検を本校生徒対象に実施しています。本分科会では、検定推進委員会の運営については、新たな課題を共有し解決しながら、委員会の規約をベースとして軌道に乗ってきました。保護者の方に検定の監督サポーターとしてご協力をいただき、今年度実施した6回の検定も無事に終わることができました。

(2) 「家庭支援」分科会

地域やご家庭の支援について検討する中で、まずは保護者の方の居場所作りを考えてみました。心地のよい居場所として中学校にカフェがあったら… そんな発想からまずはやってみようということで「花みなみカフェ」をスタートして2年が経過しました。毎月1回の実施も定着し、地域の方と保護者の方と学校と、様々な立場の方の交流の場になってきています。

(3) 「地域防災」分科会

「避難所運営マニュアル」の作成に取り組み、完成しました。学校経営協議会委員の中で学区の小学校で避難所運営マニュアルの作成に関わっている方や、小平市防災危機管理課の方、そして地元の自治会の方などに協力を仰ぎながら、本校の防災について検討を進めました。

令和七年度の展望

3年間の分科会での活動を通じて、成果をあげる取組ができてきていることを踏まえ、

(1) 現在の取組の継続

(2) 現在の取組の課題の検討・改善

以上の2点をベースにし、さらにコミュニティ・スクールとしてできることはないか考えていきたいと思います。

その他アピールしたいこと

学校経営協議会委員として、学区の小学校の青少対の関係者、民生委員さん、オブザーバーとして、学区の小学校の校長先生にご協力をいただき、小中連携の視点も視野に入れて花小金井南中学校校区としてコミュニティ・スクールの連携を考えていこうと思っています。

參考資料

小平市におけるコミュニティ・スクール推進の方針

小平市教育委員会

平成19年2月16日

1 コミュニティ・スクールの基本的な考え方

学校における教育課題の多様化や教育的ニーズの高まりを背景として、学校の教育力のさらなる向上やよりよい教育活動を推進していく学校経営が求められている。

小平市教育委員会では、「地域で育てよう すこやかな子ども」の理念に基づき、学校と家庭や地域が、児童・生徒の教育活動に双方向にかかわり合い、支え合い、学び合う活動を推進してきた。今後も一層、地域の教育力を学校教育に生かし、児童・生徒が充実した学校生活を送ることができる学校づくりを進めていくことが重要である。

そこで、保護者の願いと地域の声を十分に受けとめるとともに、学校の自主性・自立性を尊重し、学校と保護者・地域との共創による教育活動の充実を図るため、コミュニティ・スクールの指定を推進していく。

なお、小平市では現行の学校経営協力者会議の役割・機能を発展的に受け継ぐことから、法律上の学校運営協議会を学校経営協議会と称する。

2 コミュニティ・スクールに対する基本認識

- (1) 地域に根ざした学校づくりの推進
- (2) 学校の自主性・自立性の尊重
- (3) 学校・地域・行政の連携
- (4) 教育委員会による学校経営協議会の活動に対する支援
- (5) コミュニティ・スクールに関する市民への説明・理解促進
- (6) 学習指導要領に基づく教育課程の適正な編成・実施・評価

3 学校経営協議会の運営のあり方

- (1) 一定の権限と責任の下に、学校経営に関与する。
- (2) 学校経営協議会の運営について、説明責任を果たす。
- (3) 学校経営に関する承認の際は、学校から情報の提供及び説明を受けた上、責任をもって行う。
- (4) 学校と協働して、教育活動における地域の参画を推進する。
- (5) 教職員の人事に関する意見の申出は、教育委員会及び学校から必要な情報の提供を受けた上、適切に実施する。

4 コミュニティ・スクールに期待すること

- (1) 学校経営に保護者の願い・地域的心声を反映させ、特色ある学校づくりを推進していくこと。
- (2) 学校支援ボランティアなどの地域の力をより学校に導入することで、多彩で、多様な教育活動が展開されること。
- (3) 地域に開かれた学校づくりを行うことで、地域コミュニティの醸成・活性化を図ること。
- (4) 学校経営に関する情報公開を推進し、説明責任を果たすこと。

